

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|---|---|
| (整理番号) 079 | 提案機関名 神奈川県 県央地域県政総合センター |
| 要望問題名 人工造林における鳥獣害対策の省力化・低コスト化 | |
| 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 <背景> ・木材資源を循環利用するゾーン（林道から200m圏内等）では、主伐、再造林を推進し、資源の循環利用を図っていくことが重要だが、そのためには、採算性をあげ、所有者の意欲を高めていくことが求められる。 ・採算性をあげるためには、支出（再造林・保育費）を抑える必要があるが、再造林・保育は、地拵・植林・鳥獣害対策・下刈など、初期の約10年間の投資額が非常に大きい一方、造林補助等の予算は、前年度レベルを維持させるので精一杯な状況であり、今後も資源循環を進めていくためには、再造林、保育での省力化、低コスト化をいかに図っていくかが課題となっている。 ・特に鳥獣害対策については、造林補助事業での選択肢は、植生保護柵（二次製品タイプ）の一択のみで補助額も高額になる傾向にあり、省力化、低コスト化を図るべきだが、県内で新たな資材、対策手法の実績データの積み上げはなく、効果検証等もされていないため、新たな手法等の単価設定も難しい状況。 <内容> 国有林、他県等で事例のある対策手法について、県有林等の人工造林地で試行し、施工コスト、施工性、対策効果、維持管理について効果検証を行う。 | |
| 解決希望年限 | ①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内 |
| 対応を希望する研究機関名 | ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター |
| 備考 | |

| | | | |
|---------|---|------|-------|
| 回答機関名 | 自然環境保全センター | 担当部所 | 研究企画部 |
| 対応区分 | ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可 | | |
| 試験研究課題名 | (①、②、④の場合) | | |
| 対応の内容等 | 自然環境保全センターの研究部門では、令和8年度までに取り組む研究課題等を定めた試験研究推進構想を令和5年3月に改定したところですが、要望されている内容を研究課題として設定しておらず、担当できる研究員も配置していない状況です。 については、造林や森林整備業務を所管する森林再生課や水源環境保全課等と調整してまいります。 | | |
| 解決予定年限 | ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 | | |
| 備考 | | | |